

みょうじょうのことごと

第十五集
明星神社社務所

令和7年8月11日（祝・月）午後6時。明星神社の杜（もり）の中から、トントントンとまつりの始まりを知らせる太鼓の音が聞こえてきました。

着想から1年、準備に約1ヵ月半、『こども夏まつり in 明星』がいよいよ本番を迎える時が来たのです。

関係者一同、この時になっても境内のあちこちを走り回っていましたが、それぞれが「やっと、この時を迎えることができた！」との思いを噛みしめていたことでしょう。



【なぜ『こども夏まつり』なの？】



この祭りの開催を発表した時、多くの方から尋ねられたのが「なぜ、神社がお祭りをするの？」ということでした。

明星地区に以前よりお住まいの方はよくご存じでしょうが、明星では、毎年夏に会式（えしき）というお祭りが盛大に行われていました。

その祭りでは屋台がずらりと並び、多くのこどもたちがそれを楽し気に見て回り 買い物をして、さらに盆踊りも行われて、大勢の踊り手が夜遅くまで祭りを楽しんだものでした。

その会式が、新型コロナの影響で中止となって以降、明星地区には夏のイベントが無くなってしまったのです。

新型コロナが終息して1年半後の令和6年秋頃、「夏に祭りが無いのは寂しいなあ」という声が 神社総代の中から上がってきたのです。そして「夏にイベントが無いのは、こどもたちにとって悲しくない？」という声も。

「それじゃあ、何か楽しいことができないか、考えてみようよ」と有志が集まって、『こども夏まつり in 明星』の構想づくりが始まったのです。

【「こども」と「灯り」をコンセプトに】

祭りのメインコンセプトは、最初からはっきりしていました。それは「こどもたちとことん楽しめる祭り」でした。こどもたちに夏の思い出を届けたい、という思いがこの祭りの発想の原点でしたから、ここは簡単に決まりました。

では、具体的にどんな祭りにするのか、とさらに考えていったとき、このコンセプトだけでは、残念ながら祭りの姿がはっきりと出てこなかったのです。

「何か、もっと祭りを具体的にイメージできるコンセプトが欲しいよなあ」とあれこれ皆で考えていたとき、湧いて出てきたのが『明星』という地名でした。

なぜ、ここが明星と名付けられたのか、その理由には諸説がありようですが、その根本にはここをキラリと光る土地にしたいという思いもあったんじゃないの、だったら光というコンセプトはどうだろうね？ それもいいけど、夜の祭りだから光はちょっと似合わないから、灯りならどう？

ということで、コンセプトを「こども」と「灯り」の二本立てにしたら、祭りのイメージがぐんぐんと固まってきたのです。

「灯り」なら、参道と境内に竹灯籠をいっぱい並べて、ローソクを灯したらカッコよくない？

こどもたちに楽しんで遊んでもらうなら、夏だから花火遊びがいいよね。

花火以外にも、何かゲームができないかな？

祭りなんだから、いっぱい楽しんで欲しいよね。

祭りには、出店は欲しいよね。それも、食べ物の出店もあればうれしいね。

神社でする祭りだから、太鼓の音が聞こえたら、雰囲気ぐっと出るよなあ。

こどもたちって、めい姫が大好きだよ。当日、来てほしいけどムリ？



こんな風に、どんどんと具体的な内容が出てきて、各メンバーはその実現のために、それぞれの伝手をたどって動いていったのです。



その結果、竹はメンバーが所有する竹林から切り出すことにし、花火は手持花火を中心に、用意しました。

ゲームは、明和町社会福祉協議会のご協力をいただき、輪投げとヨーヨー釣りを行うことにしました。

出店は、幸運にも町内の4事業者さんをお願いすることができ、またキッチンカーも4台参加いただけることとなりました。

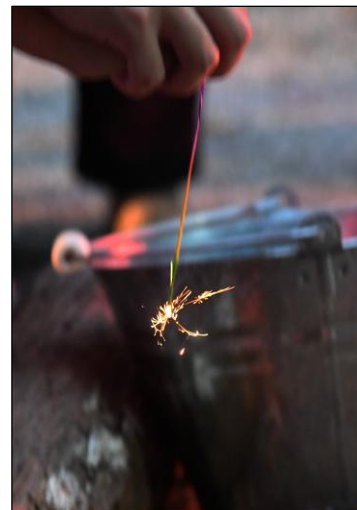
太鼓は『業平夢太鼓』の方々が来てくださることになり、さらにめい姫の来場も決定！

うんうん、盛り上がってきたよ！と、一同顔を見合わせ うなづくことしきりでした。

もちろん、PRも忘れません。公式ホームページ、Instagram、フェイスブックには告知記事を繰り返し掲載、各自治会へのイベント告知回覧は2回行い、ポスターは自治会掲示板と町内の大手スーパー・郵便局・ガソリンスタンド・町立図書館と体育館・町内の病院、そして出店してくださるお店に貼っていただきました。

最後に、祭りの開催数日前に、神社近くのお宅 約300戸のポストにチラシを投函するなど、思いつく限りのPR活動を行いました。

これで準備万端整ったと ホッと一息をついていた関係者一同は、このあと予想もしていなかった伏兵に立ち向かうことになるとは、夢想だにしていなかったのです。。。



【 え？ 大雨？？ 】

とりわけ暑さが厳しい、この夏です。あちこちで40℃超えのニュースが流れている、今年の夏です。毎日カンカン照りが続いているこの状況で、私たちは夢にも思いません



でした。雨が降るかもしれない、などと。。。ところが、11日の長期予報が出る頃になると、9日からの三連休は雨との予報が！ ウソでしょ！？

一瞬多いに動揺した関係者一同でしたが、超晴れ男である宮司さんパワーを思い出して「まあ、大丈夫だろう」と、根拠のない(!)自信を見せていたのです。

ところが、日が進むにつれて、天気予報はさらに悪い方向に進む一方で、9日には「11日は大雨」という予報まで出る始末となり、一時は16日(土)への順延も真剣に考えたのです。

でも、そうすると出店が1店減るし、キッチンカーも2台減ってしまう。何より、急な日程変更の情報が地域の方々に届くだろうか、という点が最も心配でした。ただでさえ、どれくらいの人に来てくれるかわからないこの祭り、急な日程変更は確実に来場者を減らす流れを加速するのは、目に見えています。「さあ、どうする？」と悶々としながら、当日の朝を迎えた関係者一同でした。

【 雨雲レーダーとのにらめっこは続く 】

明けて11日、祭りの当日の朝は、雨こそ降ってはいないもののぶ厚い雲が空を覆っていて、いつ雨が降り出してもおかしくない空模様。

で、注目の降水確率は70%。確率、メッチャ高いじゃんよね。う～ん。。。

こうなったら、雨雲の動きで判断するしかない、と、雨雲レーダーを朝8時から夜10時までの範囲で、30分ごとの変化をチェックすることにしました。

すると、アラ不思議！

8時の時点の雨雲レーダーの予報は、午前10時から午後3時頃までは雨で、午後5時から6時過ぎまでまた雨、その後は曇りでした。それが9時には、午後0時から3時までは小雨、その後4時から30分ほど雨が降り、その後は曇りに変わりました。

そして、運命の9時半。もうこの時間には、開催するかしないかを決めて各方面に連絡をしないと準備が間に合わないケースが出てきます。さあ、この時間の雨雲レーダーはどうなっているか？ ドキドキ…

見てみると、午前11時半ころから午後1時半頃までは雨雲がかかります。その後、3時頃から4時過ぎまで薄い雲がかかりますが、5時から11時まで明星にかかる雨雲は無くなっていたのです。

やった～、天は我を見放さなかった！
まつり、開催です！！
行っくぜ～！！！！



さっそく、関係者一同で「やろう！」と決め、出店者・キッチンカーの方々にも開催することを連絡、さらに公式ホームページ及びSNSへ開催の告知を出して、第1回『こども夏まつり in 明星』はついに動き出したのです。

【準備は進む、現場は修羅場に。。。】

祭りの本格的な準備は午後の1時半からのスタートで、男女20人ほどの神社総代とボランティアの方々が集まってくれました。



女性陣は、大量の花火を一人分に仕分ける作業と、ヨーヨー作りに取り掛かってくれました。

男性陣は、境内の掃除・出店の場所の割り振り、ゲームを行う場所の確保・竹灯籠の設置と、力仕事をを行っています。

どちらもかなりの作業ボリュームだったのですが、作業してくださる人数が多かったためか、3時頃には全ての作業が終わったので、出店の方のセッティングを手伝っていると、4時過ぎにはキッチンカーも三々五々と到着されてきました。で、キッチンカーの場所の割り振りを行っていますと、本番が近づくにつれて、ココ



はどうする、アレはどうなっている？というボランティアさんからの細かい問合せもどんどん増えてきて、そのたびに神社総代さんたちはあちらに走り、こちらに走り、開場の時間が近づくにつれ現場は修羅場の様相を呈していったのでした。。。

【お客さまはどこ？】

そんなアタフタドタバタの中でも時計の針は無情に進み、気がつくとき刻は5時50分となっていました。でも、境内はまだ閑散としていて、お客さまの姿もまばらです。

あれえ、お客さまはどこ？ 一瞬、不安が胸をよぎります。やっぱり、小さな神社のまつりではひとを呼び込む力はないんだろうか。。。



そんな主催者側の思いに忖度することなく、時刻はまつりの開始予定である午後6時となりました。

左の画像は、まつりの開会宣言をした時の画像ですが、この時点で境内にいらっしゃったのは、およそ20人ほどの方々でした（泣）

ありゃあ、やっちまったかいと、目の前が暗くなる思いでしたが、ここはもう前に進むしかありません。

腹を括って、およそ100本の竹灯籠への点火、そしてそれに続く『業平夢太鼓』の演奏へと、まつりは粛々と進行していったのです。

この時の時刻は、6時5分を少し過ぎた頃でした。



【 ついに、門はひらいた！ 】

でも、6時10分頃から少しずつきざしはあったのです。ひと組、ふた組と、親子連れが参道をこちらに向かって歩いてこられる姿が見られるようになってきていました。



それが、6時15分くらいから 突如水門から水が噴き出すかように境内に人がなだれ込んできて、明星神社の狭い境内は、あっという間にひと ひと ひとで満杯になってしまいました。

さらに、折から始まった『業平夢太鼓』の演奏に誘われてか、お客さまが続々と入ってこられるのに加え、このタイミングで『めい姫』も登場してくれちゃったので、境内の空気は一気にヒートアップ！

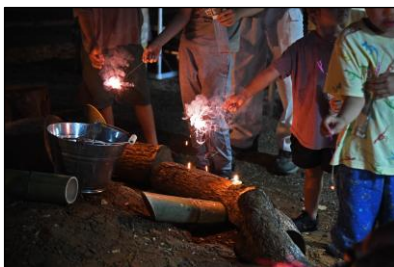
それぞれのゲームや出店には長蛇の列ができ、釜の回りでは花火を手にしたお子さんがずらりと並んで花火に火をつけ、おかげでその煙で周囲がかすむほどの盛況ぶりとなっていたのです。



イヤイヤ、明星神社にこんなに人が集まったの

を見たことはないぞ とか、明和町にこんなに子供がいたんだねえ とか、驚きの声があちこちから漏れるほどの人出に、多くの大人が目を丸くしていました。

そして、まつりのメインゲストのこどもたちは、とっても楽しそうに、そしてとてもお行儀よく 花火で遊んでくれています。この姿を見た時、関係者一同「このまつりをやって良かったね」とうなずきあったのでした。



【 千客万来、売り切れ続出！ 】

これだけのお客さまがいらっしゃったら、当然出店もキッチンカーも大忙しとなった結果、品切れとなるお店が相次ぎました。たとえば「はなびのたい焼き」さんは、持ちこんだたい焼きがあっという間に売れてしまい、その後 2回もお店から在庫を運ばれたそうですが、こちらも早々に売れてしまい、なんと8時前には完売閉店となりました。



キッチンカーも同様に、売り切れるお店が続出となり「お客さまにごめんなさいと謝るのが心苦しい」と、売り切れになったお店の方々は仰っていました。そして、「明和町って、こんなに人が来るんだ。驚きました」とも。



【 はじめてこども夏まつりを開催して 】

お知らせしました通り、今回の『こども夏まつり in 明星』は多数の方々にご来場いただき、祭りとしてかなりの賑わいとなりました。当日の来場者数は、概算ですが500人ということで、これは明星神社始まって以来の人出ではなかったかと思います。

もちろん、はじめての開催ですので、経験不足ゆえの問題も多々ありました。でも、それは来年に向けて修正していくことで、解消されるていくことでしょう。

なによりも、多くのこどもたち、そして元こどもたちの爽やかな笑顔が、明星神社の境内にいっぱい咲いたことがこの祭りのいちばんの成果だったと思います。



『こども夏まつり in 明星』は、令和8年も同じ8月11日に行います。もっと楽しく、もっと余裕をもって遊べる祭りを目指して、今回得られた教訓や課題を関係者一同じっくりと検討していきます。

皆さまが、また来年もこの夏まつりにおいでいただければ、関係者一同 本当に嬉しく思います。

最後になりましたが、このお祭りの実現のために、忙しい中打合せや準備に力を貸してくださった神社総代、ボランティアの方々に心よりお礼を申し上げます。

そして、今回 20代の若者 4名もボランティア活動に参加してくださったことを、ここに報告します。この方々が参加してくださったのは夏まつりの当日でしたが、実にフットワーク軽く、自分で仕事を探して積極的に運営に加わってくださいました。

来年以降も、こうした若い力がもっと多く私たちの活動に加わってくれることを、関係者一同 切に願っています。

【 Special Thanks to... 】

下記の皆さまに、ご出店及びキッチンカーサービス、PR活動でお世話になりました。あらためてお礼申し上げます。（敬称略）

■ ご出店

- カフェ ポコ ア ポコ - はなびのたい焼き - 手づくり布小物 mk
- 株式会社ケアテクノサービス（お菓子すくい）

■ キッチンカーサービス

- わたがし屋 nanairo. - 山の薪窯pizza屋さん イル・ヴィーヴォ
- キッチンリエちゃん - Cafe ちゃちゃ（明和町社会福祉協議会）

■ PR活動

- スポーツ&ギフト ヒカリ - カフェ ポコ ア ポコ - はなびのたい焼き
- タコヤキ ザッカ イッチャン - 明星会館 - 明星郵便局
- 明和町立図書館 - 明和町立体育館 - 新茶屋石油 有限会社KITADE
- 西井歯科 - 山田整形外科 - みょうじょうこども園 - 明星放課後児童クラブ
- イオンTheBig明和店 - ぎゅーとらラブリー明和店 - スーパーサンシ明和店

■ 演奏、他

- 業平夢太鼓 - 明和町マスコットキャラクター めい姫

以上

※次の明星神社の行事は、秋季例祭・敬老祭です。（9月14日（日） 午前10時より）